

サーマ・スラブ

取り扱い説明書

取り扱い説明書
使用ガイド

通電手順

- 操作
- 1 運転／停止
画面表示の説明
 - 2 タイマ運転の温度設定
 - 3 時計の設定
 - 4 チャイルドロックの設定

電熱パネル配置図：系統区分

「サーマ・スラブ」使用ガイド

A. 各表示について

- (1) 運転/停止ボタンに赤のパイロットランプの点灯は、ON状態を表します。
- (2) 通電をしている状態の確認は液晶画面でのON/OFF表示で確認をしてください。

B. 各設定について

- (1) 電源スイッチをONにしてください。
- (2) この温度は床仕上げ材の表面温度ではなく、床スラブ(土間コンクリート)中央部の温度です。床スラブ内にセンサーが設置されています。(通常26℃~40℃程度と建物構造等の諸条件の違いにより巾はあります。秋から冬にかけての立ち上げの際にはやや高めにして早く立ち上がるようにします。)なお、床表面温度で22℃~23℃、室温で18~20℃程度の状態が快適環境温度の目安となります。
- (3) タイムスイッチの設定 (01時入/06時切) は出荷時に行っておりますが、契約の受電時間帯に合わせて、プログラムの変更を行ってください。現在時刻の確認・調節は確実に行ってください。(時間は24時間表示です)

C. 「サーマ・スラブ」システムの開始時期について

夏が過ぎて気温が低下しはじめる秋口には電源スイッチをONにして下さい。具体的には北海道や東北では9月下旬から10月上旬頃です。その他の地域でも10月下旬から11月上旬にかけて電源を入れておくことをお勧めします。このシステムは、夏季の太陽熱によって土壌内に蓄熱されたエネルギーを活用して蓄熱層を立ち上げます。夏に温められた土壌の温度が下がり過ぎない段階でシステムをスタートすれば省エネで蓄熱層が形成できます。

D. 「サーマ・スラブ」システムの操作について

- (1) 秋口に電源スイッチをONにした後は翌年春にOFFにするまで電源スイッチはそのままONの状にしておいてください。通電は深夜電力時間帯に必要に応じて行われ、必要以上の電力は供給されませんのでご心配はいりません。
- (2) 使用期間中(秋から春まで)に電源スイッチの操作切り替えは点検等の必要時以外は原則的に行わないで下さい。電源をOFFの状態にして土壌内を冷やしてしまうと蓄熱層を再度立ち上げるのに電力を余計に消費をしてしまい省エネ効果を著しく損なってしまいますからです。シーズンを通して床スラブの温度を常に一定に維持する(自動運転での運転)方が電源スイッチ操作により温度を上下させるより遥かに経済的です。

E. 室内の温度を変更する場合

設定温度を変更する場合は、2℃程度毎に行ってください。温度設定を変えてから実際に床温度が上下するまでに約2日間かかります。従って、温度が上がらない(又は、下がらない)といってさらに大幅に温度設定を変更しないで下さい。

温度設定変更後、約2日間待ってから判断して下さい。

F. 停電した場合

停電しても設定条件は記憶していますので再度設定する必要はありません。ただし、長期停電の場合は時計がリセットされる場合がありますので、その際は時刻の設定を行ってください。

「サーマ・スラブ」通電手順

1. サーマ・スラブのコントローラへの操作・制御電源供給用の元ブレーカーがONになっているかの確認をしてください。OFF状態であった場合はONにしてください。
リレーユニットへのヒータ電源供給用の元ブレーカー（200V）もONにしてください。
 2. 時刻を合わせてください。
操作方法は添付の操作説明を参照してください。
 3. 運転／停止ボタンをONにしてください。
システム1は[1]、システム2は[2]のボタンを押してください。ON状態になると赤色のパイロットランプが点灯をします。
パイロットランプの点滅はエラー（不具合）を表します。センサーの取り付けに問題がある可能性があります。
 4. 各設定を確認してください。
設定・確認方法は添付の操作説明を参照してください。
 5. スラブ温度の上昇には時間が掛かるために、一日経っても大きな温度上昇の確認が出来ないことがあります。温度の確認はなるべく早朝にお願いをします。
万が一、温度の上昇が見受けられなかった場合は、手順1. 200Vの元ブレーカーがONになっているか再度確認をしてください。OFF状態であった場合はONにしてください。
- ※ 上記を行っても不具合が解消をされない場合は、早い時期（寒さが厳しくなる前）に
取扱い代理店もしくは下記までご連絡をしてください。

サーマエンジニアリング(株) カスタマーサービス係
0120-571-456 もしくは 052-955-1455

サーマ・スラブ（2系統）かんたんガイド

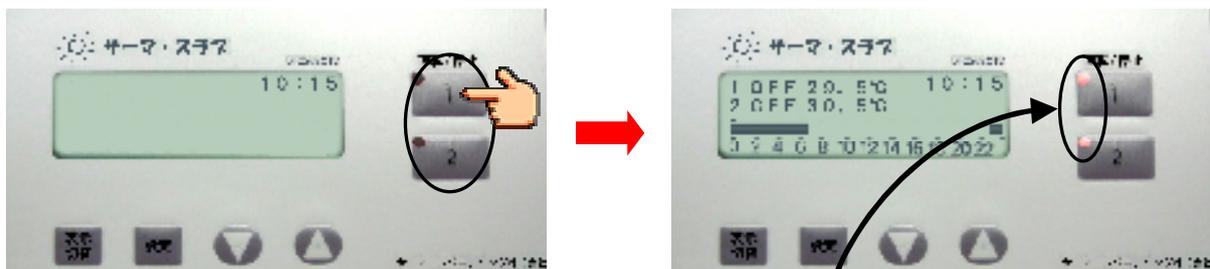
■注意■

運転を始める前に、現在時刻を確認してください。
時刻が合っていない場合には、裏面を参照して正しい時刻に設定してください。

◆運転のしかた

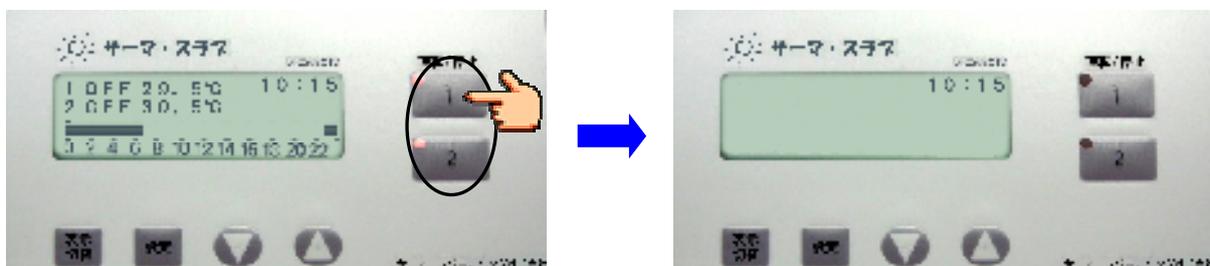
「サーマ・スラブ」は秋深くなったときに運転を始め、春の桜散る頃に運転をやめます。
この間、冬の間は、常に運転をしたままです。

①秋深くなったら、運転/停止の **1** **2** を押して運転を始めます。



運転を開始すると、
運転/停止の **1** **2** の左上が赤く点灯します。

②春の桜散る頃になったら、運転/停止の **1** **2** を押して運転を止めます。



「サーマ・スラブ」は蓄熱式ですが、温度調節ができます。
調節方法については裏面を参照下さい。

◆温度調節のしかた

床から20cm～50cm下にあるスラブ（コンクリートの部分）の温度でコントロールします。
出荷時の設定温度は35℃です。
お好みに合わせ、20℃～40℃程度の範囲でスラブ温度の設定は可能です。
スラブの温度を上下させることで建物全体の温度が上下します。

③システムと設定温度が表示されます。

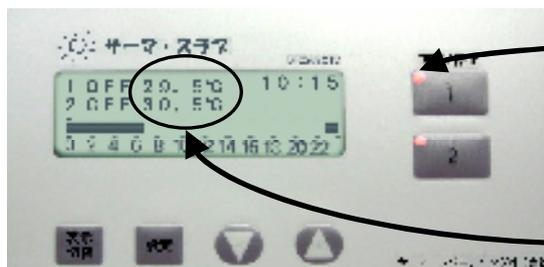


①スイッチが赤く点灯していることを確認してください。(1・2共)

④－、＋で温度の数値を変えて「設定」を押すと設定温度が変更されます。
温度を変えるときは大幅に変えずに1～2℃程度上下させて2～3日様子を見て再度微調整してください。

②「設定」を押すと上記表示となります。再度押すとシステム2に移動し設定をし、最後に「設定」を押します。

◆実際のスラブ温度の確認のしかた

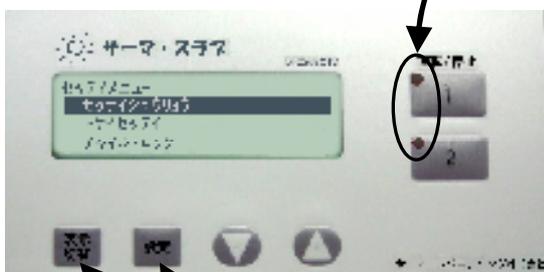


①スイッチが赤く点灯していることを確認してください。(1・2共)

②実際のスラブ温度は常に液晶画面に表示されます。

◆現在時刻の設定のしかた

①スイッチが消灯していることを確認してください。(1・2共)



②「設定」を長押ししたのち、「表示切替」で、「トケイセッテイ」を選択し、

③時刻を－、＋を使って現在時刻に合わせてください。

